



# 夏・燃える

# 金刀比羅神社例大祭



**根**室の夏を彩る「金刀比羅神社例大祭」。今年も8月9日から11日の3日間執り行われ、汗と笑顔そして感動が根室の街を包み込んだ。

長雨で気温も低い今年の夏に、祭り関係者も当日の天気を心配したが、祭り日和を越す最高の天気恵まれた。

先頭を切って、奴行列が「エンヤ、エッサ」の掛け声で神輿巡幸を知らせる。

金色に輝く重さ1.5tの神輿は、見る者の目を奪い、勇ましい担ぎ手の汗に大きな拍手が送られた。これぞ“北海道三大祭り”といわれる迫力を見せつける。担ぎ手は、2日間で延べ220人。無事に神輿を送り届けた達成感が、何にも変えられないという。

**祭**りでは、子どもたちの姿が沿道を埋め尽くした見物客の目を引く。子ども奴、お稚児さん。焼けるような熱さに負けない笑顔振りまく。お稚児さんの手を引く付添人が、子どもたちの元気に手を引かれる場面も。

一本歯の下駄で勇壮な姿の天狗も、この祭りの象徴といえる。休憩ごとに、気軽に記念写真に応える様子がほほ笑ましい。

